

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

フタル酸ジ-n-オクチルのオオミジンコ (*Daphnia magna*)に対する急性遊泳阻害試験

試験番号

7 B 7 5 2 G

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.202「ミジンコ類，急性遊泳阻害試験および繁殖試験」（1984年）に準拠して実施した。

- 1)被験物質： フタル酸ジ-n-オクチル
- 2)暴露方式： 止水式
- 3)供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4)暴露期間： 48時間
- 5)試験濃度(設定値)： 対照区,助剤対照区, 3.00, 4.80, 7.80, 12.0および 20.0 mg/L
(公比 1.6, 助剤濃度一定：100 mg/L, HCO-40 および DMF使用)
- 6)試験液量： 1 容器 (連) に付き 100 mL
- 7)連数： 4 容器 (連) /濃度区
- 8)供試生物数： 20頭/濃度区 (1 連に付き 5 頭)
- 9)試験温度： 20±1℃
- 10)照明： 16時間明/8時間暗
- 11)被験物質の分析：HPLC法

結 果

1)試験液中の被験物質濃度

被験物質の実測濃度がすべて設定値の±20%以内であったので、各影響濃度の算出には設定値を採用した。

2)24 時間暴露後の結果

半数遊泳阻害濃度 (EiC50) : >20.0 mg/L

最大無作用濃度(NOECi) : >20.0 mg/L

100%阻害最低濃度 : >20.0 mg/L

3)48 時間暴露後の結果

半数遊泳阻害濃度 (EiC50) : >20.0 mg/L

最大無作用濃度(NOECi) : 12.0 mg/L

100%阻害最低濃度 : >20.0 mg/L